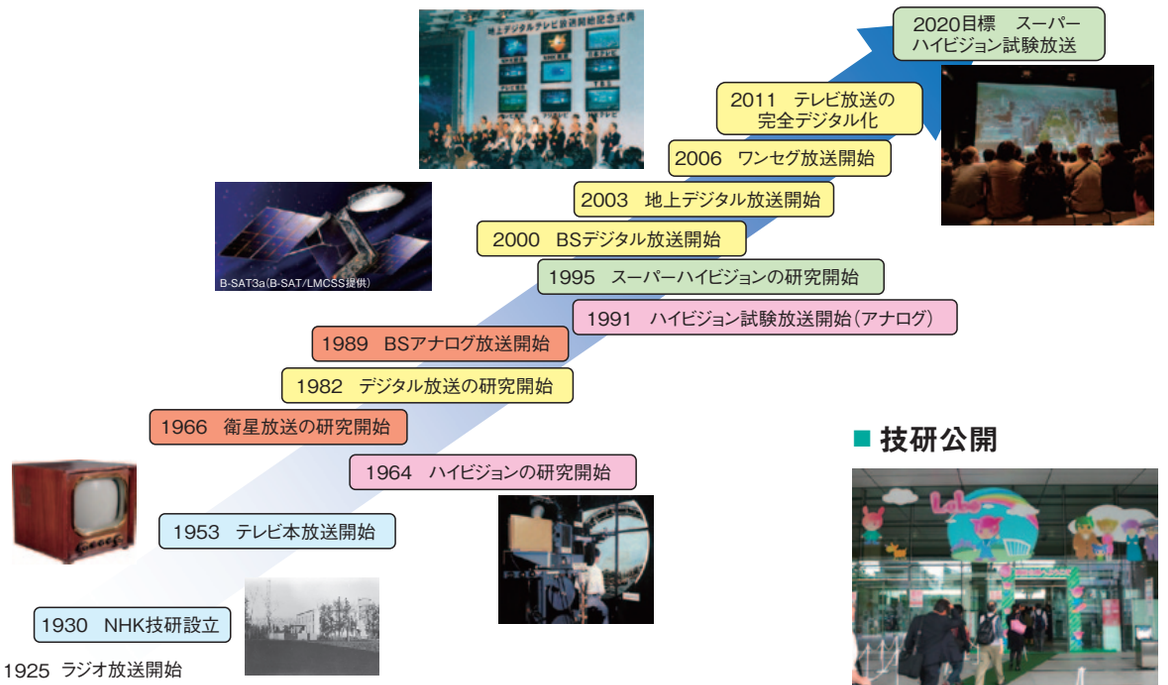
放送技術研究所の概要

NHK放送技術研究所は、放送技術分野を専門とするわが国唯一の研究機関として、また、公共放送NHKの一員として、放送技術の研究開発の立場から豊かな放送文化を築く役割を担っています。

■ 放送の発展と技研の歴史



■ 技研公開

毎年5月に技研の研究開発成果を紹介する技研公開を実施

■ 現在の研究棟

落成	2002年3月
高層棟	地上14階、地下2階
中層棟	地上６階、地下2階
延床面積	約46,000m²
うち技研部分	約16,000m²
総敷地面積	約33,000m²

■ 数字でみる技研

1930年6月	設立		
1930年6月～1965年1月	技術研究所		
1965年1月～1984年7月	総合技術研究所、放送科学基礎研究所		
1984年7月～現在	放送技術研究所		
職員数	251名	（うち研究者数	225名）
学位保有者	90名	弁理士資格保有者	2名
特許権保有数（NHK総数）	国内 1552件 外国 235件		

（2012年3月末現在）

■ 技研の組織

所長　藤沢　秀一 ― 研究主幹　伊藤　崇之

		部長
研究企画部	研究計画・管理、広報、外部連携など	黒田　徹
特許部	特許出願・管理・活用、技術移転など	中山　匡
次世代プラットフォーム研究部	放送通信連携サービス、IPネットワーク、セキュリティー、著作権保護、ソーシャルネットワークサービスなど	山本　真
放送ネットワーク研究部	次世代デジタル放送、衛星放送、有線放送、素材伝送、無線・光伝送など	伊藤　泰宏
テレビ方式研究部	スーパーハイビジョン、立体テレビ、高臨場感音響、映像・音声符号化、視聴覚特性など	鹿喰　善明
人間・情報科学研究部	画像認識、音声認識・合成、自然言語処理、情報検索、映像表現、認知科学、情報バリアフリー技術など	柴田　正啓
撮像・記録デバイス研究部	超高感度撮像、超高速度撮像、有機撮像、高密度磁気記録、高速光記録など	江上　典文
表示・機能素子研究部	フレキシブルディスプレイ、プラズマディスプレイ、有機素子、ホログラム記録、スピンエレクトロニクスなど	清水　直樹
総務部	人事、労務、経理、局舎管理など	山田　則光

（2012年4月末現在）